

京都市の目指す子ども像  
伝統と文化を受け継ぎ、  
次代と自らの未来を  
創造する子ども

学校教育目標

自ら考え 正しく判断し 実行する子どもの育成

～ 喜んで登校 満足して下校 ～



めざす子ども像

- ・考えられる子 [しっかり見聞きし、自分事として考えることができる。]
- ・判断できる子 [知識や経験を活用し、違う考えを認め合い、正しく判断できる。]
- ・実行できる子 [自分で決めたことに自信と責任をもち、実行できる。]

めざす教職員像

- ・一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ・「チーム上賀茂」として支え合い補い合う教職員
- ・自らを高めようとする教職員

めざす学校像

- ・子どもが「行きたい」と思う学校
- ・保護者が「通わせたい」と思う学校
- ・教職員が「働きたい」と思う学校
- ・地域が「応援したい」と思う学校

意識改革

資質向上

教職員

育成したい資質能力

自己指導能力の育成

その時、その場で、どのような行動が適切か  
自分で考えて、決めて、実行する力

正しく判断する力  
自発的なやる気

子ども

生徒指導の充実

- ・発達支持的生徒指導
- ・確かな児童理解
- ・問題行動の早期発見・対応
- ・いじめアンケート・クラマネの活用

校内研究・学力向上の充実

- ・基礎・基本の確実な習得
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・「わかる・できる」授業の実践
- ・家庭学習の充実

総合育成支援教育の充実

- ・支援教育の理解・認識を深める
- ・指導支援の充実
- ・共同学習の充実
- ・家庭・地域・関係機関との連携

人権教育の推進

子どもを誰一人取り残さない教育の推進

社会に開かれた教育課程

家庭・地域・学校運営協議会・幼稚園・保育園・中学校・関係機関と連携・協働した取組の推進